

取扱説明書

INSTRUCTIONS

EK-318 スリッパオン エルゴノミクス USB Type-C グリップヒーター

EK-319 スリッパオン エルゴノミクス 12V グリップヒーター

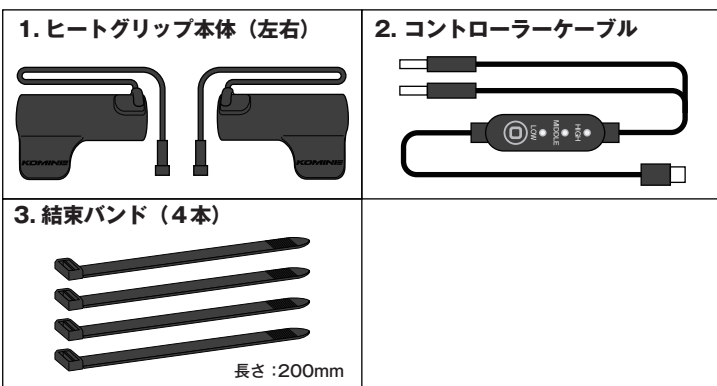
KOMINE®
SAFETY & INNOVATION

はじめに

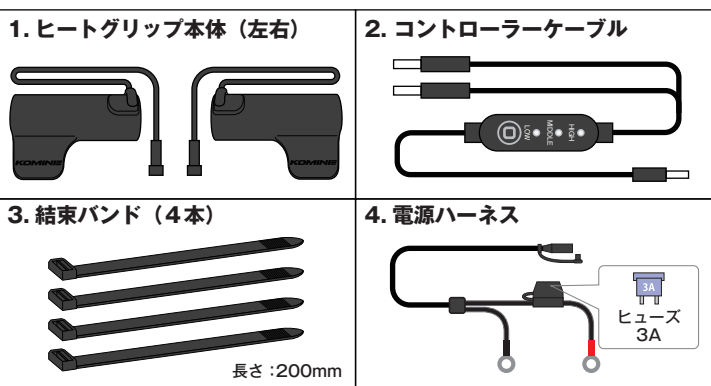
- 本製品をご購入いただき誠にありがとうございます。本製品のご使用前に本書をよくお読みください。
- お客様ご本人または第三者が、本製品および付属品の誤った使用やその使用中に生じた事故、その他の不具合によって被った損害について弊社は一切の責任を負いませんので予めご了承下さい。
- 本製品および付属品に改造を加え、オートバイに取付けて発生する不具合、オートバイの損傷、損害につきまして弊社は一切の責任を負いませんので予めご了承下さい。
- 本製品および付属品は改良のため予告なく変更する場合があります。

内容物 EK-318 とEK-319 で内容物は異なりますので、ご購入いただいた製品の項目をご参照ください。

EK-318 電源 :USB Type-C (最低出力電力 :14W)



EK-319 電源 :車両の12V 電源



取り付け方法

EK-318 とEK-319 で接続方法は異なりますので、ご購入いただいた製品の項目をご参照ください。

EK-318 電源 :USB Type-C (最低出力電力 :14W)

- 注意** **作業前に必ずお読みください**
- 作業前にエンジンが停止していることを確認し、キーを抜いて下さい。
 - 本製品は、USB Type-C ポートからのDC 5V / 最大2.8A (14W)の給電に対応しています。必ず5V 出力に対応したUSB Type-C 電源アダプターまたはモバイルバッテリーをご使用ください。
 - USB Power Delivery (PD)による9V / 12V / 15V / 20V などの高電圧給電には対応していません。
 - 電源出力が5V / 2.8A (14W)未満の場合、加熱性能が不足したり、動作が安定しない場合があります。

1. 電源と接続する

コントローラーケーブルのUSB Type-C コネクターを車体もしくはモバイルバッテリーにあるUSB Type-C ソケットに接続します。

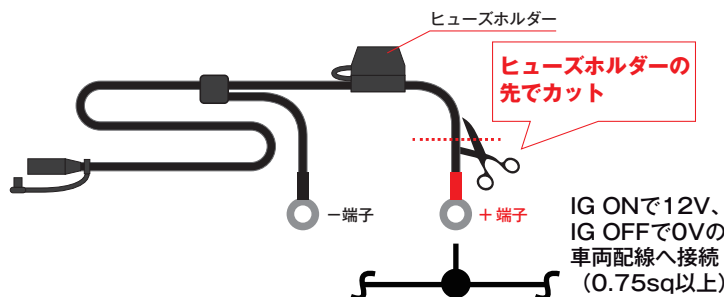
EK-319 電源 :車体の12V 電源

- 注意** **作業前に必ずお読みください**
- オートバイのバッテリー取付け位置は、車種によって異なります。詳しくはオートバイの取扱説明書をよく確認して下さい。
 - オートバイの車載バッテリーの仕様が12V であることを確認して下さい。12V バッテリー以外ではご使用できません。
 - 作業前にエンジンが停止していることを確認し、キーを抜いて下さい。
 - ご使用になる製品の消費電流とオートバイの発電能力に十分注意して下さい。オートバイの発電能力については、オートバイの取扱説明書もしくは販売店にお問い合わせ下さい。
 - オートバイの車載バッテリーが多量化していないかをよく確認し、必要であれば新品に交換して下さい。
 - 付属の電源接続ハーネスの取付けはオートバイの取扱説明書もよく確認し、自己責任のもと行って下さい。高年式のコンピューター制御のオートバイへの取付けには専門的な技術や知識、設備等が必要な場合がございます。高年式車種でなくても作業に自信がない場合は専門的な技術を持つショップ等での取り付けをお勧めします。
 - 取付けた電源接続ハーネスのたるみにより、運転の妨げになったりタイヤ等の摺動部分に巻き込まれると大変危険です。電源接続ハーネスの取り回しや長さの調整は必ず行って下さい。
 - 本製品を使用していない時は必ず電源接続ハーネスのジャックからプラグを抜き、キャップを付けて下さい。

1. ACC 電源に電源接続ハーネスを取り付ける

- 本製品は、不意のバッテリー上がりや火災などの事故を防ぐため、電源接続ハーネスをACC 電源に接続することを推奨しています。
- バッテリーに直接接続しての使用も可能ですが、その場合に発生したバッテリー上がりやその他の損害については、当社では保証いたしかねます。

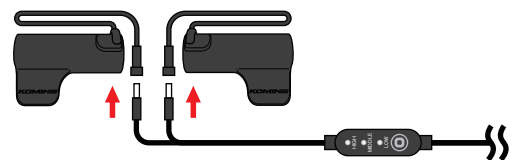
- 1.1. まず始めに安全のため、電源を切った状態でバッテリーのマイナス端子(－)を取り外します。
- 1.2. 電源接続ハーネスのプラス(+) 端子を、ヒューズホルダーより先の任意の場所でカットします。
- 1.3. カットしたプラス(+) のコードをアクセサリ電源、もしくはキーがON のときに12V、OFF のときに0V の配線に接続します。(※)
※接続に必要なギボシ端子やカプラー等は別途ご用意下さい。
※電源を取り出す配線は0.75sq 以上の太さの配線をご使用ください。
- 1.4. マイナス(－) 側はアース側に接続します。必要に応じ別途ご用意された端子に付け替えて下さい。(※)
※接続に必要なギボシ端子やカプラー等は別途ご用意下さい。



EK-318 **EK-319**

2. 電源ハーネスとコントローラーケーブルを接続する

グリップ本体のコネクターに対し電源ハーネスのオス側のプラグを挿しこみます。プラグに左右の違いはございませんので、どちらのプラグでもご使用頂くことが可能です。すべての配線が接続し終わったら、車体の操作の妨げにならず、エンジンなどの熱源に接触しないように配線を収納してください。



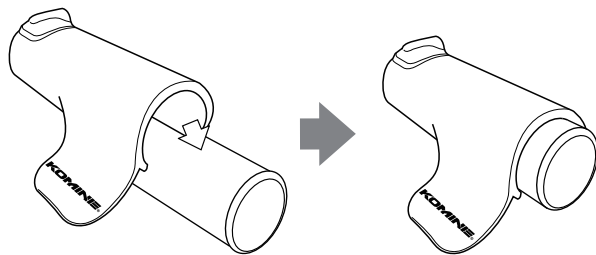
EK-318 **EK-319**

3. 車体のグリップに本製品を被せる

KOMINE ロゴが付いたグリップアシスト部分が、左右の外側を向くように取り付けてください。
取り付けに緩みがある場合は、付属の結束バンドを使用し、グリップ周囲をしっかりと締めて固定してください。

ご使用の前に

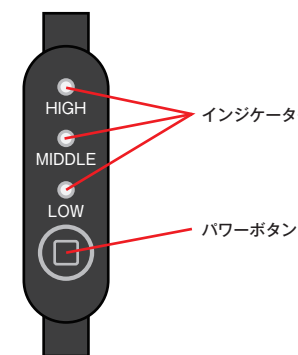
本製品のスイッチ部分は完全防水ではありません。
またコネクター部分は防水ではありませんので、雨天時の使用はお控えください。
グリップヒーターの電源ケーブルがハンドル操作等の妨げにならないことを必ず確認した上で使用してください。



装着イメージ (右ハンドル)

操作方法

各部名称



インジケータランプ

パワーボタン

1. 電源を入れる/ 切る

車両のキー操作等に伴い12V 電源もしくはUSB から電気の供給が始まると同時に本製品にも電源が入ります。電源が入っている状態でパワーボタンを長押しすることで電源を切ることができます。同様に電源が切れている状態でパワーボタンを長押しすることで電源を入れることができます。
使用後は必ず電源が切れているかご確認ください。

2. 出力を切り替える

電源が入っている状態では現在の使用発熱レベルのインジケータランプが発光します。パワーボタンを短く押すことで出力が切り替わります。使用状況に応じて下記のように3段階のレベル調整が可能です。



本製品にはメモリー機能がございます。電源を一度切って次回電源を入れた際には自動的に最後に使用していたレベルで出力されます。
※電源を切っている時間によってはメモリーがリセットされる場合がございます。

ご使用上の注意

- 本製品の電源は必ず対応する電源をご使用ください。
- 長時間の使用により低温やけどの恐れがあります。素手では使用せず、必ず冬季用バイクグローブを装着の上使用してください。
- 本製品を使用する前には必ず点検を行なってください。亀裂や剝離等の破損が見られる場合には使用しないでください。異常が発生した場合には車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を確認してください。経年と使用によって劣化しますので、定期的に新しいものに交換してください。

- ランプが点灯しない／電かくならない場合はまず以下の項目のチェックをお願いいたします。
 - バッテリーの電圧が不足していませんか?
 - USBは電源に接続されていますか?
 - パワーボタンは正しく操作していますか?
- グリップがゆるくて回ってしまう場合があります以下の項目のチェックをお願いいたします。
 - 付属の結束バンドを使用し、装着面所の締付けを調整して下さい。

製品保証について

■保証約定

保証期間内に取扱説明書(本書)に従った正常な使用状態で故障が発生した場合は、無償修理または交換(※)させていただきます。お買い上げ日から1年の間にご購入された製品が正常な使用状態で故障した場合は、必要事項を記入した本書を提示の上、ご購入店に修理をご依頼下さい。
修理依頼の際には必要となりますので、本製品をご購入の際には必ずレシート・領収書・購入控え等を保管しておいて下さい。

(※)故障の状況によっては必ずしも修理対応となるわけではありません。製品は改良の為、予告なく仕様変更する場合があります。修理の際にも一部仕様を変更させていただく場合があります。

■次の場合は保証期間に関わらず保証の対象とはなりません。

- 1) 本製品が正常な状態での使用による低温やけどによる傷害。
- 2) 本製品使用によるオートバイのバッテリー上がりとそれに付随するオートバイの故障、損害。

■次の場合は保証期間内でも保証の対象とはなりません。

- 1) 本書の提示がない場合および本書にお買い上げ日、ご購入店名の記入がない場合、あるいは字句が書き変えられている場合。
- 2) 取扱い不注意による破損や、転倒などによる外的要因による故障、損傷。
(例: 故意にケーブルを引っぱったり、本製品を分解した場合)
- 3) 本製品の誤った使用、乱用、不当な改造や修理、不注意による故障や損傷。
- 4) 火災、地震、水害、その他天災による故障、損傷。
- 5) 弊社以外での修理および改造が施されているもの。
上記以外でも保証の対象とならない場合があります(※)。
ご不明な場合はまず、ご購入店もしくは当社までご相談下さい。
(※)本体表面の紫外線による劣化は免れません。その他正常な使用状態であっても素材の劣化が生じる場合があり、保証の対象外となる場合があります。

--- 切り取り線 ---